

高槻市

子育て総合支援センター「カンガルーの森」オープン!

はじめに

平成19年4月2日、市全体の子育て支援力のさらなる向上を図ることを目的として、子育て総合支援センター「カンガルーの森」を開設しました。



子育て総合支援センター「カンガルーの森」

背景と経過

本市では、平成16年度より、「子育て・教育」を重点施策と位置づけ、これまでに、「地域子育て支援センター事業」、「つどいの広場事業」、「ファミリー・サポート・センター事業」、「子育て支援総合コーディネート事業」、「育児支援家庭訪問事業」などの事業に取り組んできました。しかし、市の出生数の減少は止まらず、子育てアンケートの結果を見ても、子育てに不安を持つ人の割合が50%を下回ることはありませんでした。

そこで、市内の子育て支援施設を統括し、子育て支援に関する総合的な事業を展開していく「子育て総合支援センター」を駅前の便利な場所に設置し、①研修・研究機能②情報発信機能③交流機能④相談機能を発揮していくことになりました。

施設概要

所在地 高槻市北園町6番30号

- 休館日 日曜日・祝日・年末年始
- 開館時間 午前9時から午後7時
- 1階 プレイルーム、工作室、ベビールーム
情報コーナー、交流ロビー
- 2階 学習室、研修室、クッキングコーナー
保育室、くつろぎコーナー
ファミリー・サポート・センター事務所
- 3階 研究室、面接室、プレイセラピー室、会議室
児童家庭相談事務所

主要事業内容

センター1階のプレイルームでは、子育て中の親と子ども（0歳～就学前）が、午前10時から午後5時までの間、いつでも気軽に訪れ、一緒に安心して楽しく過ごすことができ、毎日100組前後の親子が利用されています。ここには保育士や子育て応援ボランティアが常駐しており、子育て相談を受けたり、遊び方の助言を行ったりしています。

交流ロビーの一角では、市民が自由に常設パソコンで情報の検索ができるコーナーを設置するとともに、市ホームページ中の子育て支援サイト『WAI WAIカフェ』を核に、電子媒体による情報提供や情報誌での情報発信を行っています。

2階の学習室では、親子で参加できる「親子講座」



プレイルーム



大型絵本

や保育付きの「子育て講座」、「クッキング講座」などを毎月開催しています。特に、「ベビーマッサージ」、「リトミック」、「ふれあい遊び」、「はみがき教室」などが好評で、毎回多数の親子が参加されています。

研修室では、市における「子育て支援ネットワーク」の強化を目指し、子育て支援関係機関や職員との連携会議や講習会を定期的に行っています。

3階では、0歳から17歳までの子どもに関する幅広い相談を電話や面談で受付けています。相談担当として、社会福祉士、臨床心理士、保健師、保育士などの専門家を配置しています。

利用者の声

4月は、オープン月間でもあり、延べ利用人数が9,000人を超え、その後も毎月5,000人前後の利用者があり、元気な子どもの声が響き渡っています。

8月に開催した「子育てセミナー」には、250名の参加があり、子育て支援への関心の高さが窺えます。利用者からも「親子で息抜きに来ています。広い空間で家とは違った空気を楽しんでいます」「子どもに優しい施設で、毎回帰る時は幸せな気分になります」「気軽に子育て相談ができ、心の支えとなっています」など、嬉しい声をいただいています。



クッキング講座

今後の展開と課題

センターを利用される親子の内訳を見ると、0歳、1歳、2歳の子どもと母親が多く、在宅家庭への子育て支援の重要性が顕著に現れています。市では、各中学校区に一つ「地域子育て支援センター」又は「つどいの広場」の設置を順次行っており、今後も、センターを核として、地域の中の子育て支援施設の整備をすすめるとともに、センターの運営内容を充実させます。

従来から、子育てフォーラムの開催、見学会を行うなど話し合いの場を設けて子育て支援関係団体の理解と協力を得てきました。今後も、より充実した子育て支援策を展開していくために、私立幼稚園や民生委員児童委員、NPO等と協働関係を構築し、市全体で子育て支援の輪を広げていきます。

また、センターの大きな目的の一つに、子育て支援、就学前教育と保育等についての研究があります。現在、児童家庭相談における援助方法の指導と助言（スーパービジョン）を中心に、大阪医科大学や関西大学、平安女学院大学など市と地域連携協定を結んでいる大学の協力を得て研究を始めています。あわせて、研究の成果を活かしていける体制づくり、政策提起や発信方法について検討していきます。



プレイセラピールーム

おわりに

依然として子育てに対する不安感は増大しており、子育て支援の充実が望まれています。福祉・医療・教育・健康の各分野が一層連携・協力していくことが、とても重要となってきます。今後、センターを拠点として、市民協働の視点に立ち、市全体で手を携え「子どもたちの笑顔があふれるまちづくり」の実現を目指していきます。